

令和 5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木崎湖創生事業
事業主体 (連絡先)	木崎湖地域創生協議会 大町市平 2015-13
事業区分	(6) 産業振興、雇用の拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,459,275円 (うち支援金: 723,000円)

事業内容

7月1日、2日の2日間、木崎湖の北側海ノ口湖畔で、サウナ、飲食、水遊び、飲食の出店等を行い、木崎湖の新たな魅力を内外に発信するため、「LAKE SIDER」を実施。県内外から376名が入場(有料入場者178名、無料入場者198名(市民136人、子供62名))

会場は、木崎湖漁協の敷地を借り、木崎湖の管理者である大町建設事務所への届出により、湖畔の葎、泥を排除、浜辺の低層木、草等の除伐、草刈り等と、湖畔及び会場の一部に高瀬ダムに堆積した砂(比較的白い砂)を湖畔一帯に散布し、新たな木崎湖の魅力を発見してもらうイベントとして実施、初日は午後から大雨となりましたが、2日は晴天となり大勢の人が入場し親子連れも多く盛大に開催された。



(木崎湖畔で景観を楽しむ市民)

【目標・ねらい】

- ① 木崎湖一帯の新たな魅力の創出
- ② 木崎湖一帯の観光のブランド化
- ③ 黒部ダム、高瀬ダム、劇団四季倉庫群、仁科三湖、北アルプス山岳など大町で一日中楽しみ、市内で宿泊する「滞在型道の駅」の建設

※自己評価【 A 】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

木崎湖南、西、東側に位置する海ノ口の湖畔については、葎、雑木など一帯に生え、湖の景観を楽しむようなところがなかったが、木崎湖漁協一帯の湖畔を整備したところ湖が広く見え景観も良く、入場者皆が木崎湖にこんなところがあるとは知らなかったと好評で、来年も開催してほしいとの声が多く聴くことが出来た。

今後市民や観光客の集客が見込まれ、建設事務所の支援のもと、北側海のロー帯の景観整備をする行うことにより、大町市と協力し木崎湖北側湖畔海の口を新たなビュースポットとして景観整備を進める。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 建設事務所の協力のもと、特に海ノ口湖畔の葎等の除去除伐作業等、湖畔の景観整備を今後市民参加で継続的に進め、新たな観光ビュースポットとしてPRしていく。
- 今年度計画していたが来年に延期となった、都会の子供達に木崎湖、ダム等で楽しんでもらう「サマーキャンプ」を旅行会社と共同で開催する準備を進める。
- 来年度市が計画している国際芸術祭に合わせて、「光と音楽の競演」を、木崎湖の浮棧橋を主舞台に世界的なミュージシャンによるコンサートを来年度計画
- 「滞在型道の駅」の早期実現のため、協議会に地元企業など新たな会員を加えるとともに、先進地への視察、勉強会を開催、専門家を交えた構想の設計図の策定の準備を進める。

【理由】入場者数は、準備期間が短かったことや料金設定の仕方など反省点はあるものの、目標に近い入場者となった。今回のイベントの評価が高いことから、今後は更なる入場者数が見込まれ、木崎湖北側海の口の新たな魅力の発見、観光戦略が見えてきた。今後、県、市と連携し最終目標の「滞在型道の駅構想」の具体化が見えてきた。また、高瀬ダムの砂を湖畔等で利用する道筋(湖畔のリゾート地化)が見えてきた。